

# Vérité Sonoma County

ヴェリテ / ソノマ・カウンティ

ボルドーのグランヴァンを超越するソノマ最高峰のワイン

ヴェリテは、ジャクソン・ファミリーの創始者ジェス・ジャクソンが「カリフォルニア最高のテロワールからボルドーを超えるワインを造りたい」との思いでボルドー出身の醸造家ピエール・セイヤンを招聘し、1998年にソノマ・カウンティに設立したワイナリーです。

カベルネ・ソーヴィニオン主体のラ・ジョワ、メルロ主体のラ・ミュージズ、カベルネ・フラン主体のル・デジールの3つのワインを造り、2001年のラ・ミュージズがソノマで初めてパーカーポイント100点を獲得したことを皮切りに、2007年は3種類ともに100点満点を叩き出して以来、10回以上にわたりパーカーの満点評価を得ています。

フランス語で「真実」という意味を持つヴェリテは、旧世界で培われた洗練されたワイン造りの技術と新世界最高のテロワールの個性を掛け合わせて生まれたワインです。ブドウを収穫区画ごとに個別醸造してブレンドすることで、テロワールの個性を余すところなく引き出し、それぞれの品種、気候、土壌が持つ多彩な味わいを絶妙なバランスで引き立たせています。

「ケンダル・ジャクソンのブティック・ワイナリーの中でもひととき異彩を放つこのワイナリーは、98年の創業以来フル回転を続け、その勢いは衰えを見せない。ボルドー出身のピエール・セイヤンがアレクサンダー・ヴァレー、チョーク・ヒル、ナイツ・ヴァレーから毎年最高の果実を選び抜く。これがヴェリテのワイン作りの要であり、ボルドーワインにインスピレーションを受けた3つのキュヴェ・ボムロールを意識したラ・ミュージズは、メルロが主体、ドック風のスタイルを持つラ・ジョワは、カベルネ・ソーヴィニオン主体、サン・テミリオンを意識したル・デジールは、カベルネ・フランを主体とする。ブレンド比率はヴァンテージにより異なるが、この3品種が各々のキュヴェの個性を力強く特徴付けている。醸造家ピエール・セイヤンに今一度賞賛の意を表す。」—ロバート・パーカーJr. (ワインアドヴォケート227号2016年10月掲載)



**\*3本木箱入アソート: 上代価格 ※オープン**

## 2017 Vérité La Muse (品種:メルロ100%)

### ヴェリテ・ラ・ミュージズ

『詩の女神』という名を冠したラ・ミュージズは、しなやかな果実味とスパイス、絶妙なバランスと素晴らしく長い余韻を特徴とするメルロ・ベースのワインで、ボムロールのワインを彷彿とさせる味わいは、ソノマで最高のテロワールが育む果実の品質が世界最高クラスにあることを証明しています。(Alc:14.2% 熟成期間:新樽のフレンチオークで17ヶ月)

★パーカーポイント99点:「この年のマルベックは実に見事な出来で、通常この品種をブレンドしてワインにスパイシーさを与えている。しかし、この年はブレンドする必要がなかった。アルコール分は僅か14.2%だが、マルベックを必要としないほどのエネルギーとミネラル感を呈している。少なくとも40年は熟成が効くだろう。今までに手掛けたラ・ミュージズの中で最高傑作と言える。」(醸造責任者ピエール・セイヤン) この年初めてメルロ100%で造られた2017年のラ・ミュージズは、中程度からやや深みのあるガーネットパープルを呈している。グラスの中からブラックラズベリーやブラックフォレストケーキ、ボイゼンベリーやシナモントーストの官能的な香りが広がり、ガリグや林床、牛肉の汁やクローブオイルのニュアンスが後に続く。味わいはミディアム〜フルボディで、豊かな果実味に満ち、黒果実のジャムやエキゾチックなスパイスの重層的な風味が口中でゆっくりと存在感を増してゆく。非常によく熟れた丸みのあるタンニンと途切れなく続く滑らかでフレッシュな酸がワインの味わいに骨格を与え、香り豊かで余韻の長い後味を生む。従来ヴァンテージに比べると、ひととき異彩を放つスタイルだが、依然としてうっとりするような濃厚な味わいを呈している。従来よりも重量感は控えめで軽快な印象を受ける。生産量2,500ケース。《飲み頃:2024-2050年 | 2020/5/30掲載》

## 2017 Vérité La Joie (品種:カベルネ・ソーヴィニオン70%、カベルネ・フラン16%、メルロ10%、プティ・ヴェルド4%)

### ヴェリテ・ラ・ジョワ

『歓喜』という言葉の意味するラ・ジョワは、偉大なポイヤックの赤ワインにインスピレーションを受けて生み出されたワインで、ソノマのカベルネ・ソーヴィニオンを持つ骨格の良いストラクチャー、深み、力強さを引き出した贅沢でジューシーなテクスチャーを特徴とする赤ワインです。(Alc:14% 熟成期間:新樽のフレンチオークで17ヶ月)

★パーカーポイント98+点:「2017年のカベルネ・フランは、実に感動的な仕上がりで、例年よりもブレンド比率を少し多くしている。」(醸造責任者ピエール・セイヤン) 2017年のラ・ジョワは、非常に深みのあるガーネットパープルの色合いを呈している。開栓したてはやや閉じ気味で、黒スグリのコーディアルやエスプレッソ、木炭や黒トリュフの香りがほんの微かに感じられる。香りが開いてくると、黒果実や青果実のジャムや、土埃の舞う乾いた大地、砕いた岩石や鉄鉱石、仄かなバラの花の香りがワフワと広がる。さながらレンガ造りの家のように堅牢なミディアム〜フルボディで、引き締まった粒子の粗いタンニンと生き生きとした骨格の良い酸が筋骨隆々とした男性的な果実味をしっかりと下支えしている。後味は非常に余韻が長くミネラリー。アルコール分は僅か13.9%(ラベルには14%と表記)で、非常にエレガントなスタイルに仕上がっているが、それでもなお強いインパクトを持つラ・ジョワ。生産量2,500ケース。《飲み頃:2024-2050年 | 2020/5/30掲載》

## 2017 Vérité Le Desir (品種:カベルネ・フラン80%、メルロ17%、マルベック3%)

### ヴェリテ・ル・デジール

『欲望』という名のル・デジールは、カベルネ・フラン主体で、凝縮感のある果実味にエキゾチックなスパイス、芳醇なアロマにスエード革を思わせる贅沢なテクスチャーが感じられます。(Alc:13.9% 熟成期間:新樽のフレンチオークで17ヶ月)

★パーカーポイント98点:2017年のカベルネ・フランは、円熟した果実の味わいが実に印象深い。その秘訣についてピエール・セイヤンの次期後継者である娘のエレーヌが次のように語ってくれた。「カベルネ・フランは、他の品種よりも数多くのサンプルを造っている。熟し方が均一でないブドウは全て取り除き、葉は果実の成熟に必要なので、摘み取り過ぎないようにしている」2017年ル・デジールの外観は、中程度からやや深みのあるガーネットパープル。グラスの中から颯爽と香り立つアロマは、純血のサラブレッドさながらのエレガンスと緻密さの全てを備え、キルシュやポットポプリ、温かいプラムや野生のブルーベリーの香りにチョコレートの箱やカルダモン、スターアニスのニュアンスが仄かに感じられる。ミディアムボディの味わい(アルコール分僅か13.9%)は、パワフルな力強さと見事なエレガンスを兼ね備えている。非常にきめ細やかで引き締まった極めて円熟感のあるタンニンと太みのあるフレッシュな酸が赤果実や青果実の重層的な果実味をしっかりと支え、驚くほどに余韻が長く深みのある後味を生む。生産量2,500ケース。《飲み頃:2024-2044年 | 2020/5/30掲載》